

脱プラ・木質化 R&D 通信

「無垢材」の活用で、日本の林産・木材業を応援する！

vol.8

発行日：2025 年 9 月 18 日

こんにちは。ナイス株式会社 脱プラ・木質化 R&D センターです。

私たちは、サステナブルな素材である「国産材・無垢材」を使った素材の開発によって、あらゆる分野に木質化を促し、社会課題の解決に貢献したいと考えています。

木製スピーカー 木音 -KION- × Gywood®

9 月 3 日・4 日に開催された「木と暮らしの博覧会」、ナイスの国産材・木質化・提案エリアでは、木製スピーカー「木音 -KION-」と Gywood®がコラボしたバーカウンターを展示し、大きな反響をいただきました！



◀ 樹齢約 350 年の春日杉から作られた銘木 Gywood®がバーカウンターに！



バーカウンターの周りには、連日多くのお客様でにぎわい、音空間を楽しまれました。

一般的なスピーカーは、紙のコーンを揺らし、その振動で周囲の空気を震わせて音を出す仕組みですが、木音はコーンの代わりに大きな無垢の板全体を振動させて、木の表面の空気を面で揺らす、これまでにない音響装置です。



木音は、大きな面から必要なエリア全体に自然で明瞭な音が広がり、人などの障害物があっても音質が変わりにくいという特徴を持っています。音響建材として、壁・床・天井に設置することで、より広いスペースに音を響かせることができ、ホテルやマンションのラウンジやエントランスホール、寝室のベッドヘッドなど活用事例が増えています。

Gywood®



木音
— KION —

進化した無垢材を振るわせて創り出す音空間

開発者である横濱金平さんは幼少期から自然に親しみ、その時に森の中で聞いていた音を現代の子供たちにも聞いてほしいという想いから、「木材そのものをスピーカーにする」というアイディアにたどりつきました。

“森の記憶を聴く”というコンセプトの木音と Gywood®が出会い、広葉樹のような表面の硬さと、針葉樹の内部に残る軟らかさが共存する Gywood®ならではの特性が、従来の針葉樹では実現できなかった、高密度でクリアな音空間の創出を実現しています。

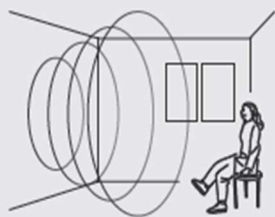


自然を感じられる要素を取り入れた空間デザインのニーズが高まる中、独特の木の存在感や癒しをもたらす「木音 -KION-」と Gywood®のコラボレーションで、その可能性はさらに広がります。

Features

- 1 Gywood の表層圧密テクノロジーを活用することでクリアな音質を実現
- 2 面で音を鳴らすので減衰が少なく、遠くまで音を届けることができる
- 3 配線やスピーカーが見えないため、内装レイアウトの可能性を拡張
- 4 自然の要素を取り入れ、人の健康と幸福を向上させる究極のバイオフィリックデザイン

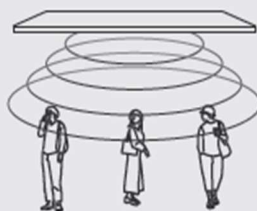
Case



Case.1

壁そのものが奏でる音響空間

壁面全体から音を奏でることができます。壁面に少しだけ振動を加えることで、空間全体を心地よい音色で満たします。



Case.2

天井から降り注ぐ「音のシャワー」

その空間でしかできない「木の音に包まれる」体験です。頭からつま先まで、全身で無垢の音を感じることができます。

日本発「新たな無垢材」と「新たなサウンドシステム」の融合

日本各地の森林資源としては杉などの針葉樹が見られますが、これらも少子高齢化が進んでいます。適切な時期に伐採されず、現在の需要に合わない高樹齢化・大径化が進み放置され、健全な維持が難しい状態が続いています。

Gywood の表層圧密テクノロジーは、持続的な森林資源の維持という視点から生まれた日本発の技術です。そして、木音 -KION- のビンポイント駆動テクノロジーも、数十年に及ぶ木材産業への関わりの中で、森の恵みを受け、森に恵みを返す「city forest」という活動から生まれた日本発の技術です。

日本の森を未来永劫大切に維持していくという共通の思いが、新しい音空間を創っていきます。



【動画前編】



【動画後編】